

■久永市議の質問にたいする教育長の答弁 2018.02.26.本会議

私から、本市における子どもと教員の教育環境についての基本的な考え方についてお答えし、各項目につきましては、担当部長が答弁いたしますので、よろしく願いいたします。

子どもの教育において、教員がどのように関わっていくのかは、子どもの成長にとって大変重要であり、私が大切にしているところでございます。今日の社会環境の変化は非常に速いものとなっており、この中で日々、教員が子どもに寄り添いながら深く対応することは、教員として本質的に求められるものではあります。同時に多大な労力も必要となります。

そのため本市では、子どもと教員の教育環境の充実のために、特別支援学級補助員、通常学級特別支援員、スクールライフサポーターなど、様々な人員を市独自で配置しております。平成30年度予算においては、児童数の多い小学校に配置する養護教諭補助員を始め、英語の教科化に対応するための英語指導助手ALT及び、レインボーハウスで相談業務を行っておりますスクールカウンセラーを、それぞれ増員するなど、一層の支援を行うための予算を提案させていただいております。

これからも、本市の学校教育が基本理念に掲げております「心身ともに健康で知恵と愛をもつ児童生徒の育成」に向けて、保護者、学校、教員、教育委員会が一体となって取り組んでまいります。